

**製品名: Arnt 2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07153**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	79kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ARNT2
別名	ARNT2; BHLHE1; KIAA0307; Aryl hydrocarbon receptor nuclear translocator 2; ARNT protein 2; Class E basic helix-loop-helix protein 1; bHLHe1
遺伝子 ID	9915.0
SwissProt ID	Q9HBZ2
免疫原	抗血清はヒト ARNT2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 21-70

**背景**

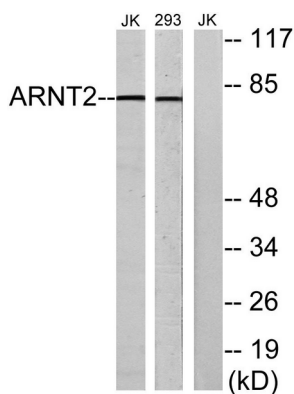
アリール炭化水素受容体核転座因子 2 (ARNT2) ホモサピエンス この遺伝子は、転写因子の塩基性ヘリックスループヘリックス Per-

Arnt-Sim (bHLH-PAS) スーパーファミリーのメンバーをコードしています。コードされたタンパク質は、bHLH-PAS ファミリーのいくつかのセンサータンパク質のパートナーとして機能し、発生および環境刺激に応答する遺伝子の調節 DNA 配列に結合するセンサータンパク質とヘテロ二量体を形成します。低酸素状態では、コードされたタンパク質は核内で低酸素誘導因子 1 $\alpha$  と複合体を形成し、この複合体は酸素応答性遺伝子のエンハンサーおよびプロモーター内の低酸素応答性エレメントに結合します。マウスの非常に類似したタンパク質は、アリール炭化水素受容体および Single-minded タンパク質の両方と機能的な複合体を形成します。これは、コードされたタンパク質がそれぞれ異物化合物の代謝および神経発生の調節においてさらに役割を果たしていることを示唆しています。 [RefSeq 提供、2013 年 12 月],機能: 生体異物反応エレメント (XRE) を特異的に認識する。類似性: 基本ヘリックス・ループ・ヘリックス (bHLH) ドメインを 1 つ含む。類似性: PAC (PAS 関連 C 末端) ドメインを 1 つ含む。類似性: PAS (PER-ARNT-SIM) ドメインを 2 つ含む。サブユニット: 効率的な DNA 結合には、別の bHLH タンパク質との二量体形成が必要である。芳香族炭化水素受容体 (AHR) または SIM1 タンパク質とのヘテロ二量体を形成する。TACC3 と相互作用する。、

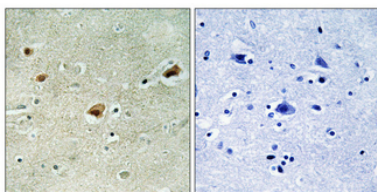
## 研究分野

癌の経路;腎細胞癌;

## 画像データ



ARNT2 抗体を用いた Jurkat 細胞および 293 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。